

2 もくじ/今月のイチオシ!

3 特集

あなたのために 家族のために
～受診しましょう!がん検診～

6 投票日は10月20日(日)です
氷川町長選挙および氷川町議会議員一般選挙

7 職員給与・定員管理を公表します

8 すくーらいふ(氷川中学校)

10 北海道大空町 人材交流事業
第8回 ふれ愛スタディin大空

12 夜空に咲いた大輪の花
地藏まつり・造り物大会

14 10月カレンダー
行事予定表/休日在宅医/まちへのホットライン/
休日救急歯科診療

16 けんこうだより

17 こころの健康コーナー/認知症キャラバンメイトだより

18 まちのトピックス!
九州大会出場選手激励会/夏休みワクワク親子
クッキング/みんなで行こうJ実行委員会来庁

19 ひかわスポーツクラブだより!!

20 立神峡里地公園だより

21 町民文芸

22 暮らしの情報

27 伝言板/ひとのうごき

28 ひかわっ子写真館/有佐駅前団地入居者募集/
編集後記

今月のイチオシ!



吉野梨で”おもてなし”
第8回氷川町梨マラソン大会
9月23日、竜北公園をスタート、ゴールとする第8回氷川町梨マラソン大会が行われ、今年は、県内外から過去最多となる、1581人のマラソン愛好者たちの参加がありました。
参加者はピストルの合図とともに一斉にスタートすると、それぞれのペースで、町内のフルロードを通る3つのコースを駆け抜けました。
また、コース途中の給水所では、竜北果樹部会梨部の皆さんより吉野梨が振る舞われ、参加者は氷川町が誇るブランド梨を味わい、爽やかな汗を流しながら、秋を満喫されている様子でした。
なお、梨マラソン大会の詳細は広報ひかわ11月号で紹介する予定です。



▲甘い梨を片手に一休み



▲完走!一生懸命走りました

特集

あなたのために 家族のために
受診しましょう!がん検診

日本人の2人に1人は生涯に「がん」になると言われています。がんは昭和56年以降、日本人の死因の第1位であり、現在、年間約30万人の人が、がんで亡くなる状況となっています。
一方で、医療の進歩により、早期発見、早期治療を行えば、完治する可能性もあります。
重要なのは早期の段階でがんを発見することであり、そのために有効なのが「がん検診」です。
あなたとあなたを必要とする人のためにも今月はがん検診について考えてみましょう。

がんで亡くなられた人の8割はがん検診を未受診

上の表は氷川町における平成21年から23年までに亡くなられた人の死因を表にしたものです。
がんで亡くなられた人の割合は全体の25.9%を占めており、4人に1人となっています。
がんで亡くなられた人のがん検診受診歴を調べると8割の人が未受診だったことが分かりました。

元気なときこそ検診受診を

がんは初期の段階ではほとんど自覚症状がないと言われています。はつきりとした症状が現れた時には進行しているケースが多いのです。
また、がんは決して不治の病ではありません。早期発見・早期治療をすれば治る確率は高くなります。
「異常がないから」、「まだ若いから」がん検診を受ける必要はないと考えがちですが、元気なときにこそ、がん検診を受けるべきなのです。

氷川町で平成21年から23年に亡くなられた人の死因上位5位

順位	死因	死亡者数	割合
1位	がん	126人	25.9%
2位	心疾患	82人	16.9%
3位	肺炎	72人	14.8%
4位	脳血管疾患	40人	8.2%
5位	腎不全	26人	5.3%

平成21年から平成23年までの3年間の死亡者486人(男性246人、女性240人)